



前に進む！多様な交通政策

桜区でAIデマンド交通実証実験開始の見込み

さいたま市は、桜区と西区で実施したいと発言しました。あとは事業者との調整がつけば、実施になります。数ヶ月のテスト運行の予定です。

高齢者への運賃助成制度検討へ

100円均一にするのか、半額にするのかなど、その効果などを分析し、どういう制度がいいか検討していくと表明されました。

私は2022年の12月議会の一般質問で交通政策の質問をし、デマンド交通の実施と「お出かけ応援制度」（高齢者はバス料金すべて100円）の創設を求めたので、大きな成果となりました。

これでいいのか？さいたま市

低すぎるスクールソーシャルワーカーの時給、引き上げを



いじめや不登校、児童虐待など、子どもたちを取り巻く課題は年々深刻化しています。課題を抱える子どもたちへの支援のために、スクールカウンセラー（SC）とスクールソーシャルワーカー（SSW）が学校に配置されており、SCは心のケア、SSWは福祉面のサポートをします。どちらも課題解決に欠かせない存在です。

ところが、その時給には大きな差があります。

SCの時給約5000円。SSWの時給約1800円。

他市を調べてみると、SSWの時給は約3000円です。

私は予算委員会で、SSWの時給をあげるべきと求め、教育委員会は「他市を注視していく」と述べました。今後も強く改善を求めていきたいと思えます。

これで守れるのか？サクラソウ

理解できないクラウドファンディング



さいたま市は昨年、「田島ヶ原サクラソウ自生地再生のためのクラウドファンディング」を実施し、目標額を超えて募金が寄せられました。このお金でどのような再生対策を実施したのか？資料要求をして驚きました。用途は、草焼きなど年度予算で組まれていたものに充てていました。

私が「浮いたお金はどうしたのか？」と予算委員会で質疑したところ、「浮いたというか、そういった予算については、市が実施する事業に広く活用する財源となっている」とのこと。

なんと、サクラソウのために集めたお金を他に広く使うということでしょうか？！

私は、サクラソウのために集めたお金は、サクラソウの更なる保全対策に活用するよう強く求めました。市も努力すると答弁しました。

循環型社会に向けて

プラごみの更なるリサイクル

今まで食品包装プラスチックのみの回収でしたが、10月からその他の包装プラスチックもリサイクルすることになります。（半透明ではなく、透明のゴミ袋に入れることが必須になる予定です）

木の枝、草、落ち葉などのリサイクル検討

現在燃えるごみとなっている剪定枝、刈り草、落ち葉などを分別回収して、リサイクル処理していく検討がされます。



別所沼公園の釣り糸等ポイ捨て禁止の看板

昨年12月議会でポイ捨てされた釣り糸・針で多くの野鳥が傷ついていることを指摘し、ポイ捨て禁止の看板設置と掃除の徹底を求めました。早速、ポスターが貼られました。しかし、もっと目立つように、大きく、枚数も多くしてほしいとさらに要望をしています。



実現！

DV被害者へのあたたかい支援

私はこの10年、被害者に寄り添った同行支援を求め続け、ついに実現しました。また、改善を求めている相談共通シートも、被害者が辛い経験を何度も話さなくてすむように改善され、幅広い部署での活用が約束されました。

障がい者の移動支援

2022年12月議会の一般質問で求めた、障がい者の移動支援でのグループ支援（数人のグループでの外出支援）が新年度から可能になります。

また、ずっと求めて来た報酬単価の引き上げも、短時間での支援において報酬アップになります。

保健福祉委員会 議案外質問

带状疱疹ワクチンに助成を

他会派議員も議会で求めています。市はうしろ向きです。多くの市民が待ち望んでいることは認めたものの、国や先進自治体を注視するとの答弁です。私は、「他自治体では次々と独自助成を実施している。国が行う前に市民の願いに応えるのが地方自治体の役目だ」と早期の実施を求めました。



福祉職の処遇改善策をいそいで

障がい者・高齢者福祉現場の人材不足は深刻です。東京では、介護職に対して月額最高2万円上乗せの処遇改善策が打ち出されました。さいたま市も独自の処遇改善策を構築するよう強く求めました。

老人クラブへの補助金 45人も99人も同額?!

さいたま市の単位老人クラブの補助金は、会員数45人以上100人未満が、月5000円になっています。つまり、45人も99人も同額補助です。市は会員増の取り組みを強いますが、会員が増えれば費用も増えるので、これでは積極的に増やすことができません。他市を調べると、10人刻みの設定になっているところが多いことが分かりました。私は、さいたま市も10人刻みにして、会員を増やしたら補助金が増えるようにするべきと改善を求めました。市も検討すると答弁しました。

議会報告 2024年2月議会

日本共産党さいたま市議会議員

久保みき



日本共産党さいたま市議団

さいたま市浦和区常盤6-4-4（さいたま市議会内）
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

さいたま市桜区道場3-15-20



市政に市民の声は届いていないのでしょうか？



大型開発に暮らしがつぶされる

2024年度予算は過去最大の1兆1816億円という巨大予算ですが、134万人のさいたま市民の暮らしを支えるものになっていません。

最優先で推進

駅前中心の大型開発に約152億円

巨大プロジェクト
大宮駅GCS化構想

20年先に実現?! 地下鉄7号線延伸

反対の声を無視

沼影市民プール廃止

レジャープール削減

高齢者施設グリーンヒルうらわ廃止

交通政策提案がみもの

高齢者等の外出・公共交通利用促進策として、2022年12月党市議団提案の「交通政策」に示した運賃助成制度の検討と、デマンド交通の実証実験を立案していくことが明らかになりました。「交通は人権である」という立場から行なった提案が積極的に受け止められたことを歓迎し、支援の対象を狭めない制度設計を求めています。(デマンド交通とは…利用者の予約に応じて経路やスケジュールを合わせてバスや乗合タクシーを運行する地域公共交通のこと)

国保税・介護保険料の引き上げ

国保税は8年連続の引き上げ。介護保険料は保険料率区分を細分化したにも関わらず、ほとんどの人が引き上げになります。介護保険では、利用者の負担増につながる条例改定も行われています。物価高に苦しむ高齢者や家族に負担を強いるもので、必要な介護を受けられない人も生まれかねません。国保税の負担ももう限界です。党市議団は、基金や一般会計からの繰り入れを行い、国保税・介護保険料の引き上げをしないことを強く求めます。

新年度事業に対する私たちの態度

歓迎!市民の声で実現へ

子育て支援医療費助成制度の高校生年代への拡大
障がい者(児)の移動支援体制の充実
給付制奨学金(大学等進学「夢」支援)
市立中学校の体育館への空調機整備
DV相談共通シートの改善・同行支援実施
気候危機対策としてZEH・ZEB・LCT拡大
高齢者等の移動支援事業の拡大

市民の意見を反映させた事業として実施を

こども誰でも通園制度(仮称)の試行的実施
JCHOさいたま北部医療センター跡地活用
桜木駐車場用地の活用
新庁舎の整備・現庁舎地利活用
不登校等児童生徒への支援の充実「Growth」
小中学校水泳授業の民間委託の拡大
デジタル地域通貨・市民アプリの導入
さいたまスポーツシュレ整備

反対!撤回・中止を求める

地下鉄7号線延伸事業
与野中央公園ミニアリーナの整備
武蔵浦和義務教育学校の整備
沼影公園解体事業
スクールダッシュボードの運用
さいたまクリテリウムの開催支援
放課後子ども居場所事業